

～会計を通じて人に幸せを～

Hirai's レビュー

2011年10月号 (No. 34)

平井会計事務所 税理士 平井満広
 〒108-0023 東京都港区芝浦4-22-1
 芝浦アイランドエアタワー1704号
 電話:03-3452-7082 Fax :03-6303-3350
 Mail:m_hirai@hirai-ao.com
 URL:http://www.hirai-ao.com/

不良在庫撲滅！知らなきゃ損する方程式

販売不振の打開策として商品の改廃を頻繁に繰り返している会社が増えているようです。売上を確保するためにはやむを得ませんが、販売終了に伴う不良在庫が大量に発生しないように注意する必要があります。そこで今回は、不良在庫が発生するメカニズムをご紹介します。

◆3つの期間をおさえる

不良在庫のメカニズムを理解するためには、まずはじめに次の3つの期間を知っておく必要があります。

(1)リードタイム

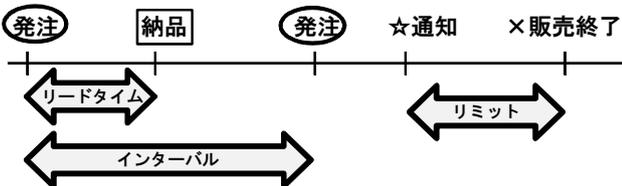
商品を発注してから納品されるまでの期間。取引先との条件が予め決まっている。短いほど在庫が少なくなる。

(2)インターバル

商品を一度発注してから次に商品を発注するまでの期間。インターバルが短いと、発注回数が増え1回の発注量が少なくなりやすい。また、短いほど在庫が少なくなる。

(3)リミット

販売終了の通知があつてから実際に販売終了するまでの猶予期間。長いほど在庫が少なくなる。

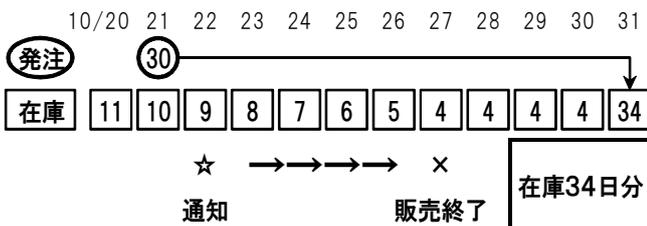


3つの期間を図にすると上記のようになります。基本をおさえたところで今度は「毎日の出荷量は一定」、「発注量=インターバル日数分」、「在庫ゼロの日に入荷されるタイミングで発注する」、「発注したらキャンセル不可」、といった前提条件で具体的な事例をみていきましょう。

◆【リードタイム10日、インターバル30日、リミット5日の場合】

<不良在庫が最も多くなるケース>

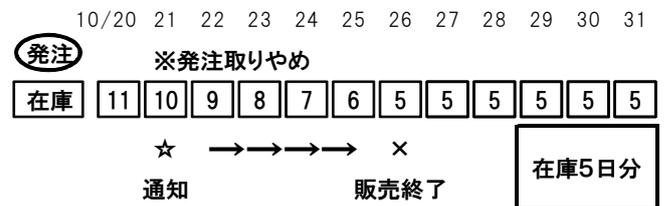
例えば発注日が10/21のとき、不良在庫が最も多くなるのは翌日の10/22に通知があつた場合になります。



この場合の不良在庫は、販売終了となった10/27の在庫に10/21の発注分を加えた34日分の数量となります。

<不良在庫が最も少なくなるケース>

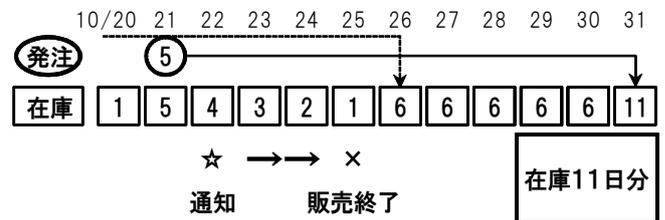
販売終了の通知が10/21の当日であれば不良在庫は最も少なく(今回のケースでは5日分)なります。



◆リードタイム10日、インターバル5日、リミット3日の場合

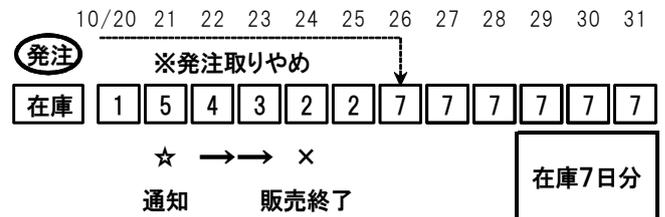
<不良在庫が最も多くなるケース>

同じく最後の発注日を10/21とすると、不良在庫が最も多くなるのは翌日10/22に通知があつた場合になります。この場合、販売終了となった10/25時点の在庫に10/16と10/21の発注を加えた11日分が不良在庫となります。



<不良在庫が最も少なくなるケース>

販売終了の通知が10/21当日であれば、不良在庫は最も少なく(今回のケースでは7日分)なります。



◆ちなみに

今回の場合「リードタイムをx」、「インターバルをy」、「リミットをz」とおくと、次の方程式が成立します。

$$(\text{最大不良在庫}) = x - z + y - 1$$

$$(\text{最小不良在庫}) = x - z$$

不良在庫の撲滅に取り組む際はぜひ参考にして下さい。

※このお便りは名刺の交換をさせて頂いた方にお送りさせて頂いております。ご不要の場合はご連絡ください。

☆ ブログもご覧いただけたら幸いです。(平日毎日更新)⇒http://blog.goo.ne.jp/hirai_tax/